

第414回大学院医学系研究科・非介入等研究倫理委員会（Bチーム）議事要録

日時 2021年01月25日（月）14:00～15:40  
 場所 WEB開催  
 出席者 神馬委員長、佐々木副委員長、高橋副委員長、梅崎、窪田、宮本、浅野、村山、保科、立石、宮井、浅見、前田、谷水、水野 各委員  
 欠席者 なし  
 陪席者 上竹、山崎、牧野、平戸、深田、石原、本多

○前回の委員会議事要録の確認が行われた。

○報告事項

1. 既に承認されている案件について、軽微な変更と認め委員長一任で承認した報告が行われた。

番号	申請者	所属	職名	研究課題
11993e-(2)	辻 陽介	消化器内科	助教	早期胃癌に対する内視鏡的粘膜下層剥離術後出血リスク スコアリングシステムの開発に関する研究
2018097NI-(2)	長谷川 潔	肝・胆・膵外科	教授	消化管静脈瘤・難治性腹水データベース作成
2217-(10)	相原 一	眼科	教授	各種眼疾患の診断方法、治療成績、長期予後等に関する後向き研究
2673-(3)	黒川 峰夫	血液・腫瘍内科	教授	血液疾患の診断・治療に関する後方視的調査研究
10015-(2)	佐藤 伊織	家族看護学	講師	小児T細胞性急性リンパ性白血病患者児のQOLアンケート調査（多施設共同研究）
10482-(2)	佐藤 伊織	家族看護学	講師	Pediatric Quality of Life Inventory (PedsQL) Infant Scales 日本語版の開発 ―field testによる心理計量学的特性の検証―
2018148NI-(2)	芳賀 信彦	リハビリテーション科	教授	四肢形成不全・切断者における義肢部品およびリハビリテーションプログラムの安全性・有効性に関する研究
2019271NI-(3)	笠井 清登	精神神経科	教授	思春期のレジリエンシー向上因子に関する探索的大規模調査研究
11531-(3)	田中 理恵	眼科	特任講師 (病院) (助教)	ウイルスに起因する難治性の眼感染疾患に対する迅速診断（PCR法）
11104-(3)	大江 和彦	企画情報運営部	教授	人工知能研究基盤としての多施設匿名化臨床データベース構築と活用研究（多施設共同観察研究）
2020267NI-(1)	脇 嘉代	企画情報運営部	准教授	新型コロナウイルス感染症の流行が当院糖尿病・代謝内科外来に通院中の2型糖尿病患者へ及ぼした影響の検討
10086-(8)	本田 晃	血液・腫瘍内科	助教	造血細胞移植および細胞治療の全国調査
10510-(1)	吉内 一浩	心療内科	准教授	高齢者の身体活動及び不安、抑うつ、認知機能と、冠動脈/脳血管疾患の発症及び全死亡に関する縦断的・学際的研究（中之条研究）
2019140NI-(2)	立石 敬介	消化器内科	講師	胆膵疾患の分子病理疫学解析による疾患サブタイプの検討
11455-(2)	大江 和彦	企画情報運営部	教授	Deep Learning技術を用いた腎生検病理画像の自動分類による病理診断の効率化と診断補助に関する研究
2018015NI-(8)	笠井 清登	精神神経科	教授	22q11.2欠失症候群をもつ当事者・家族の支援に必要な生物・心理・社会的情報の収集
11754-(4)	間野 達雄	神経内科	助教	神経変性疾患ヒト脳の病理、タンパク質および遺伝子発現の解析
11049-(10)	西川 真子	検査部	助教	セレンディピターを用いた高精度血中細胞検出技術の評価：健康人血球を用いた基礎検討
2020154NI-(1)	奥原 剛	医療コミュニケーション学	准教授	妊娠に関連する不安の尺度の開発および日本人妊婦の不安に関わる背景因子と不安軽減策の検討

11913-(4)	真田 弘美	老年看護学／創傷看護学	教授	在宅療養者に対する、看護師によるエコーを用いた大腸観察に基づく排便ケアの有効性検証
2019347NI-(3)	橋本 英樹	保健社会行動学	教授	オンライン医療相談サービスを用いた支援による妊産婦の産後うつ予防効果とその社会的インパクトの検討：ランダム化比較試験
11106-(4)	張田 豊	小児科	准教授	尿を用いた小児腎疾患バイオマーカーの樹立（多施設共同前向き観察研究）
2020117NI-(5)	谷 匡治			臨床試製造用_ヒト乳歯歯髓由来間葉系幹細胞（SHED）原料の供給システム構築・運用

○議事

1. No. 2020331NI（新規） 関口 昌央（小児科・助教）「NUDT15遺伝子多型解析およびタンパク質定量を用いたチオプリン耐用量予測モデルの構築」

担当の委員から研究の概要、個別審査における審査内容および経緯（指摘事項に基づく変更点等）について説明が行われた。  
審査の結果、特に問題は無く内容的に研究を行うことは差し支えないとの判断により承認することとなった。

2. No. 2020328NI（新規） 漆山 博和（呼吸器内科・助教）「抗線維化薬投与下慢性期特発性肺線維症症例へのステロイド併用実態調査－多施設共同前向き観察試験－」

担当の委員から研究の概要、個別審査における審査内容および経緯（指摘事項に基づく変更点等）について説明が行われた。  
審査の結果、特に問題は無く内容的に研究を行うことは差し支えないとの判断により承認することとなった。

3. No. 2020325NI（新規） 阿部 修（放射線科・教授）「Multidimensional Diffusion Encoding（MDD）およびEnhanced Arterial Spin Labeling（eASL）を用いた脳MRI画像の検討」

担当の委員から研究の概要、個別審査における審査内容および経緯（指摘事項に基づく変更点等）について説明が行われた。

より、研究対象者数について質問があり、内容の確認を行った。

審査の結果、特に問題は無く内容的に研究を行うことは差し支えないとの判断により承認することとなった。

【附帯事項】

- ・利益相反アドバイザー機関の判断を仰ぐこと

4. No. 2020337NI（新規） 宮脇 敦士（公衆衛生学・助教）「日本におけるCOVID-19問題による社会・健康格差評価研究 -COVID-19時代のヘルスサービスリサーチ-」

担当の委員から研究の概要、個別審査における審査内容および経緯（指摘事項に基づく変更点等）について説明が行われた。

より、研究内容（データの二次利用）について質問があり、内容の確認を行った。

審査の結果、特に問題は無く内容的に研究を行うことは差し支えないとの判断により承認することとなった。

5. No. 2020326NI（新規） 村上 健太郎（社会予防疫学・助教）「食行動と食事摂取量を多面的に測定するための新規食事調査法の開発に関する調査」

担当の委員から研究の概要、個別審査における審査内容および経緯（指摘事項に基づく変更点等）について説明が行われた。

引き続き、担当の委員より対応表の保管方法について補足の説明があった。

審査の結果、特に問題は無く内容的に研究を行うことは差し支えないとの判断により承認することとなった。

6. No. 2020332NI（新規） 西 大輔（精神保健学・准教授）「WHO 統合国際診断面接第5版(CIDI 5.0)日本語版の開発と信頼性・妥当性の検証および活用のための体制整備に資する研究」

担当の委員から研究の概要、個別審査における審査内容および経緯（指摘事項に基づく変更点等）について説明が行われた。

引き続き、担当の委員より研究対象者数について補足の説明があった。

より、オンラインインタビューの録画について質問があり、内容の確認を行った。

より、センシティブな内容を扱うインタビューをオンラインで実施することについて質問があり、出席委員にて討議を行い、本委員会における指摘事項への回答と、訂正を加えた申請書の提出を受けた上で、委員長一任で承認することとなった。

【指摘事項】

- ・センシティブな内容を扱うインタビューをオンラインで行う際の配慮について追記すること
- ・研究対象者数を適切に変更すること

7. No. 2020329NI（新規） 山本 則子（高齢者在宅長期ケア看護学・教授）「介護施設における新型コロナウイルス感染症：パンデミック前後の対応と、その影響に関する国際的な調査」

担当の委員から研究の概要、個別審査における審査内容および経緯（指摘事項に基づく変更点等）について説明が行われた。

より、論文の共著者について質問があり、内容の確認を行った。

審査の結果、特に問題は無く内容的に研究を行うことは差し支えないとの判断により承認することとなった。

【附帯事項】

- ・利益相反アドバイザー機関の判断を仰ぐこと

8. No. 2020335NI（新規） 唐沢 康暉（脳神経外科・助教）「ナビゲーションシステムのシミュレーションデータを用いたSB623の投与部位の解析」

担当の委員から研究の概要、個別審査における審査内容および経緯（指摘事項に基づく変更点等）について説明が行われた。

審査の結果、特に問題は無く内容的に研究を行うことは差し支えないとの判断により承認することとなった。

9. No. 2020324NI（新規） 森崎 裕（運営支援組織 医療評価・安全部・講師）「新生活様式が上肢に及ぼす影響調査」

担当の委員から研究の概要、個別審査における審査内容および経緯（指摘事項に基づく変更点等）について説明が行われた。

審査の結果、特に問題は無く内容的に研究を行うことは差し支えないとの判断により承認することとなった。

10. No. 2020327NI（新規） 小林 廉毅（公衆衛生学・教授）「病児保育事業におけるICT導入の有用性に関する観察研究」

【一括審査】

担当の委員から研究の概要、共同研究施設間の連携体制、一括審査依頼施設、個別審査における審査内容および経緯（指摘事項に基づく変更点等）について説明が行われた。

より、研究対象者について質問があり、内容の確認を行った。

審査の結果、特に問題は無く内容的に研究を行うことは差し支えないとの判断により承認することとなった。

11. No. 2020336NI（新規） 西 大輔（精神保健学・准教授）「日本におけるCOVID-19問題による社会・健康格差評価研究」

担当の委員から研究の概要、個別審査における審査内容および経緯（指摘事項に基づく変更点等）について説明が行われた。

引き続き、担当の委員より関連研究（2020337NI）との相違点について補足の説明があった。

より、研究計画書の立案と申請の時期について質問があり、内容の確認を行った。

審査の結果、特に問題は無く内容的に研究を行うことは差し支えないとの判断により承認することとなった。

12. No. 2020303NI（新規） 佐藤 雅昭（呼吸器外科・講師）「Webアンケートを用いたVALMAP(Virtual Assisted Lung Mapping)法による肺切除の経験有無の術式選択への影響検討試験」

担当の委員から研究の概要、個別審査における審査内容および経緯（指摘事項に基づく変更点等）について説明が行われた。

審査の結果、特に問題は無く内容的に研究を行うことは差し支えないとの判断により承認することとなった。

【附帯事項】

- ・利益相反アドバイザー機関の判断を仰ぐこと

13. No. 2020333NI（新規） 宮本 雄一郎（女性診療科・産科・助教）「JGOG2043A-2術後化学療法を受けた子宮体癌における新たな予後因子の検討」

担当の委員から研究の概要、個別審査における審査内容および経緯（指摘事項に基づく変更点等）について説明が行われた。

審査の結果、特に問題は無く内容的に研究を行うことは差し支えないとの判断により承認することとなった。

14. No. 2020323NI（新規） 真田 弘美（老年看護学／創傷看護学・教授）「気泡を含むゼリーを活用した携帯型超音波検査装置による誤嚥・咽頭残留物の観察方法の開発」

担当の委員から研究の概要、個別審査における審査内容および経緯（指摘事項に基づく変更点等）について説明が行われた。

審査の結果、特に問題は無く内容的に研究を行うことは差し支えないとの判断により承認することとなった。

【附帯事項】

- ・利益相反アドバイザー機関の判断を仰ぐこと

15. No. 2020334NI（新規） 藤原 清香（リハビリテーション部・講師）「下肢切断者のQOLに寄与する義足の技術開発ならびに義足治療の発展とその有効性の解明」

担当の委員から研究の概要、個別審査における審査内容および経緯（指摘事項に基づく変更点等）について説明が行われた。

審査の結果、特に問題は無く内容的に研究を行うことは差し支えないとの判断により承認することとなった。

【附帯事項】

- ・利益相反アドバイザー機関の判断を仰ぐこと

16. No. 2020321NI（新規） 東口 治弘（肺高血圧先進医療研究学講座（寄付講座）・特任准教授）「心筋生検にて診断された急性心筋炎の多施設共同前向き観察研究」

担当の委員から研究の概要、個別審査における審査内容および経緯（指摘事項に基づく変更点等）について説明が行われた。  
審査の結果、特に問題は無く内容的に研究を行うことは差し支えないとの判断により承認することとなった。

【附帯事項】

- ・利益相反アドバイザー機関の判断を仰ぐこと

17. No. 2020322NI（新規） 神馬 征峰（国際地域保健学・教授）「障害児の介護者に対するレジリエンス研修プログラムの効果：クラスターランダム化比較試験」

委員長が本研究の研究責任者であることから、副委員長（XXXXXXXXXX）により議事進行が進められた。  
XXXXXXXXXXより、研究に用いる研修プログラムのこれまでの実績、研究の資金源について質問があり、内容の確認を行った。  
担当の委員から研究の概要、個別審査における審査内容および経緯（指摘事項に基づく変更点等）について説明が行われた。  
審査の結果、特に問題は無く内容的に研究を行うことは差し支えないとの判断により承認することとなった。

【附帯事項】

- ・利益相反アドバイザー機関の判断を仰ぐこと

○その他

- ・10524-(5)  
「生体ドナー肺を用いた肺移植（生体肺移植）の実施」  
について事務局より研究終了について報告を行った。

以 上